

部 局 名	水道局
部 局 長 名	古谷 靖
部の運営方針	我孫子市水道事業ビジョンや我孫子市水道事業基本計画に掲げた、3つの基本目標及び6つの基本方針に基づき、令和7年度は次の取り組みを実施します。 I. 安全 1. 良質な水道の維持 水源から蛇口に至るまでの総合的な水質管理を行うため、「我孫子市水道事業水安全計画」の活用や、「我孫子市水道局水質検査計画」に基づく水質検査を行います。また、自己水源（深井戸）の計画的な機能保全を図るため、「取水井維持活用方針」に基づき、2ヶ所の井戸について浚渫工事を行います。 II. 強靱 2. 施設強靱性の維持 浄水場整備では、市内配水管の末端圧力を監視するため、令和6年度からの継続事業としている「圧力末端局更新工事」を完了させます。さらに、令和7年度から8年度までの継続事業として、「久寺家浄水場受変電設備更新工事」及び「湖北台浄水場高度浄水処理設備コントロールセンター盤他更新工事」を行います。水道管路整備では、経年配水管路及び基幹管路の耐震化を図るため、総延長約5 kmの布設替え工事を行い、激甚化・頻発化する災害や老朽化に伴う事故を防ぐ「強靱化」を進めます。 3. 災害対応の強化 災害時に対応するため、県内水道事業体間における各種情報伝達訓練に参画するほか、市の総合防災訓練において市民と連携した応急給水訓練を行います。また、災害や水質事故等に即応する危機管理体制強化のため、令和6年度、妻子原浄水場に設置したバルブ操作訓練施設で事故対応訓練を行うほか、災害時に必要な資機材の整備も進めます。 III. 持続 4. 事業継続性の確保 水資源の適正運用では、北千葉広域水道企業団からの受水と自己水源（深井戸）の運用コストや災害時等の対応を踏まえた、取・受水管理を引き続き行います。業務効率化方策では、「浄水場設備運転及び維持管理業務等包括委託」及び「料金・給水・会計業務等包括委託」など官民連携の推進により、引き続きお客様サービス向上と業務効率化に努めます。また、職責に応じ必要な研修に積極的に参加することで職員の技術力向上を図るとともに、次世代の水道実務を担う人材の育成を図ります。職員一人一人自らが果たすべき職責、市民目線、水道事業を取り巻く状況を十分に理解し、自覚と責任をもって事務を遂行していきます。

5. 財政健全性の確保

水需要や給水収益の減少に対応するため、業務の効率化を進めていきます。水道事業がインフラ整備や災害対応強化のために国土交通省に移管されたことも踏まえ、国庫補助対象事業の要件について、引き続き注視していきます。また、将来にわたり長期間使用する水道施設の整備に要する費用は、世代間で負担を平準化するために、引き続き企業債を活用します。さらに不足する財源については、水道料金の適正化に向けて、水道料金算定要領を基に運営審議会を開催して適正な料金体系の見直しを行い、地域の安全と快適な生活を支える水道サービスの提供に努めていきます。

6. 将来につなげる新施策の考察

SDGs（持続可能な開発目標）17の目標のうち、主に「9 産業と技術革新の基盤をつくろう」をターゲットとして、安定的に水道水を供給できるよう災害時における応急給水体制の充実を図ります。なお、総合的な取り組みとして、電力や紙資源の低減策を継続し、SDGsに対応してまいります。また、有収率向上の新たな取り組みとして、人工衛星からの画像データを解析し、漏水可能性エリアを可視化するデジタル技術などを活用します。

部 局 名	水道局
部 局 長 名	古谷 靖
部の運営方針 に対する総合 評価	我孫子市水道事業ビジョンや我孫子市水道事業基本計画に掲げた、3つの基本目標及び6つの基本方針に基づき、事業を実施しました。 「良質な水道の維持」では、水源から蛇口に至るまでの総合的な水質管理を行うため、「我孫子市水道事業水安全計画」の活用や「我孫子市水道局水質検査計画」に基づく水質検査を実施しました。また、自己水源（深井戸）の計画的な機能保全を図るため、「取水井維持活用方針」に基づき、2か所の井戸について浚渫工事を実施しました。 「施設強靱性の維持」では、浄水場整備として停電時にも継続して浄水場施設を稼働させるため、令和5年度からの継続事業である「湖北台浄水場非常用発電機更新工事」が、他工事との工程調整を経て令和7年5月に完了しました。また、市内配水管の末端圧力を監視するため、令和6年度からの継続事業である「圧力末端局更新工事」が完了しました。さらに、令和7年度から8年度までの継続事業として、「久寺家浄水場受変電設備更新工事」及び「湖北台浄水場高度浄水処理設備コントロールセンター盤他更新工事」を実施しています。 水道管路整備では、経年配水管路及び基幹管路の耐震化を図るため、総延長約5キロメートルの布設替え工事を行い、激甚化・頻発化する災害や老朽化に伴う事故を防ぐ「強靱化」を進めました。 「災害対応の強化」では、災害時に対応するため、県内水道事業体間での各種情報伝達訓練に参画するとともに、市民と連携した応急給水訓練を実施しました。また、災害や水質事故等に即応する危機管理体制強化のため、局内で事故対応訓練を行いました。さらに、災害時に飲料水を確保するため、組立式給水タンクを2基購入しました。 「事業継続性の確保」では、水資源の適正運用として、北千葉広域水道企業団からの受水と自己水源（深井戸）の運用コストや災害時等の対応を踏まえた取・受水管理を引き続き行いました。このほか、漏水防止対策や有収率の向上に向けた新たな取り組みとして、衛星画像を活用した漏水特定調査により漏水可能性エリアを抽出し、漏水監視システムを用いて漏水疑義箇所を特定しました。令和8年度は、これらの漏水疑義箇所に対して音聴調査を実施し、地下漏水を確実に発見して早期修繕を行います。収益の確保については、料金未納者への徴収強化に引き続き努めるとともに、水道未使用者に対して水道管の更新工事と合わせて給水の引き込み工事を行っていただけるよう、積極的にアプローチし水道使用者を増やす取り組みを行いました。また、水道未使用者に対する営業活動を実施し、普及率向上に努めました。

	業務効率化方策としては、「浄水場設備運転及び維持管理業務等包括委託」および「料金・給水・会計業務等包括委託」の着実な実施と官民連携の推進により、引き続きお客様サービスの向上と、更なる業務効率化および災害時の緊急対応等を検討しました。さらに、職責に応じた必要な研修に参加することで職員の技術力向上を図るとともに、次世代の水道実務を担う人材の育成にも努めました。また、妻子原浄水場内にあるバルブ操作の技能研修施設を積極的に活用し、水道管内の通水・洗浄作業の手順と注意点をバルブ操作の実技を通じて訓練しました。これにより、漏水事故等に迅速に対応できる能力を養うとともに、世代を担う職員への確実な人材育成と水道技術の継承に努めました。 「財政健全性の確保」では、将来にわたり長期間使用する水道施設の整備に要する費用の負担を、世代間で平準化するために、引き続き企業債を借りました。また、国庫補助事業を活用した事業展開を令和7年度から実施したほか、適正な料金体系の見直しを行い令和8年4月から水道料金の改定を行う条例案を議会に提出し可決されました。 「将来につなげる新施策の考察」では、IoT技術を活用したスマートメーターなど新技術の動向に注視し、引き続き導入に向けた調査・研究を行いました。環境負荷低減に向けた再生可能エネルギーの活用や災害時における安定供給を目的として、PPA事業により湖北台浄水場内に設置した太陽光発電設備による電力供給を令和7年4月から開始しました。また、広報活動の一環として、水道局内に設置したデジタルサイネージを活用し、引き続き水道事業のPRを実施しました。
--	--

令和7年度 課の目標管理書

課 名： 経営課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

水道局は「水道事業ビジョン」や「水道事業基本計画」に掲げた基本目標【安全】【強靱】【持続】に沿って取り組みを推進しています。このうち、経営課の令和7年度の目標としては、主に次の取り組みを行います。

【安全】

- ・「我孫子市水道事業水安全計画」の活用や、「我孫子市水道局水質検査計画」に基づく水質検査について、予算通りに執行されているか管理します。

【強靱】

- ・自然災害など様々な危機に対応するため、県などが行う情報伝達訓練や市の総合防災訓練、避難所運営訓練に積極的に参加します。また、水道局独自でも事故対応訓練を実施し、体制の強化を図ります。

【持続】

- ・庁舎管理では、業務を一括発注することで、業務効率化を図ります。
- ・財政面では、水道施設の整備に必要な費用についての新たな財源の検討を行います。また、投資財政の均衡を図りながら、企業債を活用します。
- ・将来にわたり財政の健全化を図るため、水道料金の適正化について料金体系の見直しを行います。
- ・広報では水道利用者の皆様に対して水道事業の仕組みや情報をわかりやすく発信し、水道事業に対しての信頼とご理解をいただけるよう実施していきます。
- ・次世代の水道実務を担う人材育成のため、職員の成長を促し、職員が業務に必要な知識やスキルを習得させるために、職責にあった研修を実施します。

2. 課の目標への取組結果

目標に掲げた取組方針については、概ね対応することができました。

令和5年度に見直した新たな「水道事業基本計画」及び「経営戦略」と整合を図り、予算計上を行いました。財政面では、企業債を活用すると共に、国庫補助事業の調査・検討を行い、令和7年度から国庫補助事業を展開しました。

引き続き厳しい経営状況が続くなか、収支バランスを把握したうえで健全経営に努めていきます。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

新たな財源を見いだせたことについて、大きく評価できると考えます。また、約30年ぶりに水道料金の値上げをすることで、水道料金の適正化を図りました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

引き続き、水道料金の適正化に努める必要があります。また、昨今の大規模災害や水道の漏水事故も踏まえた耐震化事業については、遅れることなく計画通りに事業を進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	水道事業の健全経営	
	担当部署名	水道局 経営課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－7 安全な水道水の安定供給	
	施策の展開内容	業務の効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。 また、安全で安心な水道水を供給するとともに、老朽化した浄水場設備の更新と管路の耐震化を計画的に進めます。	
事務事業の目的 ・概要	中長期的な資産管理計画に基づいて健全な財政収支を維持し、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	水道事業計画の進行管理		公用車管理
	契約事務		貯蔵品管理
	出納事務		料金・給水・会計業務棟包括業務委託の監理（会計業務分）
	資金管理		
	決算調整		
	組織・人事管理		
	法務事務		
	広報活動推進		
	職員研修の推進		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	40,004	0	令和5年度（年度末時点）	0.25 0.00
令和6年度	決算見込額	59,494	13,332	令和6年度（年度末時点）	4.60 0.00
令和7年度	当初予算額	75,870	24,398	令和7年度	4月1日時点 3.60 0.00
	補正後予算額	70,636	24,398		
	決算額	57,833	24,398		
	次年度へ繰越	0	0	年度末時点	3.60 0.30

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	職員一人当たりの営業収益（給水収益／損益勘定所属職員数）	千円／人	目標値	126,380	124,500	124,500	124,500	124,500	124,500	124,500
			実績値	126,632	136,825	124,164	117,424	117,597		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	指標の実績値が目標値より若干下回っていますが、昨年度と比べると改善されています。今後も、給水収益向上の取組と業務効率化の方策を検討していきます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	令和5年度に「水道事業基本計画」や「経営戦略」を見直したことから、令和7年度から令和10年度に向け、更なる給水収益の向上と効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業の運営に努めていきます。

令和7年度 課の目標管理書

課 名：工務課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

『我孫子市水道事業ビジョン』に定める基本目標「安全」「強靱」「持続」の実現に向け計画的な事業執行に努めます。

令和7年度は、主に次に掲げる取り組みを行います。

[安全]良質な水道の維持

- ・水質管理業務－「水安全計画」の活用や「水質検査計画」に基づく水質検査を行います。
- ・水源施設の適切な維持管理－「取水井維持管理活用方針」に基づき6号及び10号取水井の浚渫工事を行います。

[強靱]施設強靱性の維持

- ・浄水場整備－市内配水管の末端圧力を常時監視し効率的に浄水場を運用するため、経年劣化した圧力末端局の更新工事（R6からR7の継続事業）を完了させます。

また、水道水を安定的に供給するため経年劣化した設備の更新工事として、「久寺家浄水場受変電設備更新工事」及び「湖北台浄水場高度浄水処理設備コントロールセンター盤他更新工事」（ともにR7からR8の継続事業）を行います。

- ・水道管路整備－柴崎台、天王台、都部、つくし野、並木などの各地区で経年配水管路と基幹管路を耐震性の高い水道管に、総延長約5kmの布設替え工事を行います。

[持続]事業継続性の確保、将来につなげる新施策の考察

- ・浄水場系包括業務委託の着実な実施と官民連携により、引き続き業務の効率化に努めます。
- ・有収率向上のため、人工衛星からの画像データを解析し、漏水可能性エリアを可視化する新技術を活用します。

2. 課の目標への取組結果

『我孫子市水道事業ビジョン』に掲げる3つの基本目標に対して、「我孫子市水道事業基本計画」に基づき事業を行いました。浄水場整備は、湖北台浄水場非常用発電機更新工事及び圧力末端局更新工事を実施しました。さらに、令和7年度から令和8年度までの継続事業として、久寺家浄水場受変電設備更新工事及び湖北台浄水場高度浄水処理設備コントロールセンター盤他更新工事を実施しています。

水道管路整備は、各地区の経年配水管路及び基幹管路の耐震化を図るため、計画通り総延長約5kmの更新工事を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

『我孫子市水道事業ビジョン』に掲げる3つの基本目標に対して、令和6年度に見直した「我孫子市水道事業基本計画」に基づき、管路の更新延長の目標を年間5kmとして、耐震化率の向上のため計画的に業務を遂行しました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

水道事業を取り巻く環境の変化に対応するため、デジタル技術の導入を検討し、更なる業務効率化や維持管理費用の削減に努めていく必要があります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	浄水場施設の更新・維持管理		
	担当部署名	水道局 工務課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－7 安全な水道水の安定供給		
	施策の展開内容	業務の効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。 また、安全で安心な水道水を供給するとともに、老朽化した浄水場設備の更新と管路の耐震化を計画的に進めます。		
事務事業の目的 ・概要	適切な浄水場の運用に努めるとともに、老朽化した施設の更新を計画的に進めます。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	浄水場施設の更新業務			
	浄水場系包括業務委託			
	浄水場施設の維持管理業務			
	水質管理業務			
	取水及び受水管理			
継続費設定事業	湖北台浄水場非常用発電機更新工事（公契約） R5～R7年度 657,613千円 、 圧力末端局更新工事（公契約） R6～R7年度 132,000千円 久寺家浄水場変電設備更新工事（公契約） R7～R8年度 547,004千円 湖北台浄水場高度浄水処理設備コントロールセンター盤他更新工事（公契約） R7～R8年度 484,000千円			
債務負担行為設定事業	浄水場系包括業務委託 R7～R11年度 1,505,532千円			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	1,549,917	0	令和5年度（年度末時点）		2.80	0.00
令和6年度	決算見込額	1,311,954	0	令和6年度（年度末時点）		3.50	0.00
令和7年度	当初予算額	2,037,537	710,413	令和7年度	4月1日時点	3.40	0.00
	補正後予算額	2,023,337	710,413				
	決算額	2,023,337	710,413				
	次年度へ繰越	0	412,402		年度末時点	3.40	0.00

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	設備機器更新と実施計画の件数	件	目標値	13	7	4	7	8	7	7
			実績値	13	8	4	7	7		
活動 指標	浄水場維持管理業務終了件数	件	目標値	41	33	29	33	26	30	33
			実績値	41	33	29	33	26		
活動 指標	水質検査計画に基づく水質検査実施率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
成果 指標	浄水場の適正な維持管理 （浄水場無事故割合）	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
成果 指標	水質基準適合率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
		%	目標値							
			実績値							
		%	目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	更新・改良工事は、予定事業をすべて完了しました。不具合事項は修繕等で適切な維持管理に努めました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	安全な水道水を安定的に供給するため、引き続き設備等の更新・修繕を計画的に進め、施設の老朽化対策を図る必要があります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	水道管路の更新・維持管理		
	担当部署名	水道局 工務課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－7 安全な水道水の安定供給		
	施策の展開内容	業務の効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。 また、安全で安心な水道水を供給するとともに、老朽化した浄水場設備の更新と管路の耐震化を計画的に進めます。		
事務事業の目的 ・概要	水道管路の重要度と老朽度を総合的に判断し、計画的に管路の耐震化を進めるとともに、適切な維持管理に努めます。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	水道管路の更新改良・耐震化			
	水道管路施設維持修繕			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	463,604	0	令和5年度（年度末時点）	3.30 0.60
令和6年度	決算見込額	592,379	0	令和6年度（年度末時点）	4.30 0.00
令和7年度	当初予算額	941,440	0	令和7年度 4月1日時点	3.90 0.00
	補正後予算額	965,387	0		
	決算額	951,230	0	令和7年度 年度末時点	3.90 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	耐震管布設替え延長距離	m	目標値	3,605	5,526	3,646	3,036	4,533	4,713	5,000
			実績値	3,537	5,453	3,416	2,989	4,956		
活動 指標	修繕工事実施率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	耐震管布設替工事は、予定事業をすべて完了しました。漏水対応は迅速に修繕し、適切な維持管理に努めました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	安全な水道水を安定的に供給するため、引き続き水道管路の更新・耐震化を計画的に進め、施設の強靱化を図る必要があります。

令和7年度 課の目標管理書

課 名：給水課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

水道局は「水道事業ビジョン」や「水道事業基本計画」に掲げた基本目標【安全】【強靱】【持続】に沿って取り組みを推進しています。このうち、給水課の令和7年度の目標としては、主に次の取り組みを行います。

【安全】

- ・漏水を早期に発見し、復旧を行い、安心して飲める良質な水道の維持に努めます。

【強靱】

- ・災害時の対応強化について、県などが行う情報伝達訓練や近隣市と行う合同訓練、市の総合防災訓練、避難所運営訓練に積極的に参加し応急給水などの訓練を行い、災害時の減災に努めます。
- ・災害時に必要な資機材の整備について、「組立式給水タンク」の整備など災害時に必要な資機材の整備を進め、応急給水体制の確立に努めます。

【持続】

- ・業務効率化方策について、「料金・給水・会計業務等包括委託」などの官民連携の推進により、お客様サービスの向上と業務効率化に努めます。
- ・検針業務など、新技術の導入に向けた調査・研究を行なっていきます。

2. 課の目標への取組結果

危機管理体制強化のため、応急給水体制の充実を図るほか、組立式給水タンク及び給水袋を調達しました。我孫子市総合防災訓練及び避難所運営訓練にて応急給水を実演し、市民と連携した応急給水訓練を実施しました。水道料金適正化のため、我孫子市水道事業給水条例の一部改正し、各種規程や様式等の見直しを行いました。給水装置設計施行基準の見直しを行いました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

遅滞なく完了することができました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

組織の改編に伴い、給水業務については工務課へ、料金業務については経営課へ事務・業務の引き継ぎを行います。引き続き災害対応に即応できる体制を整えます。また、経費削減及び業務効率化のため検針請求の隔月の実施に向けた準備を進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	応急給水体制の充実		
	担当部署名	水道局 給水課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1－1 防災・減災対策の推進		
	施策の展開内容	市民や関係団体・機関と連携し、防災・減災に対する意識の向上と自助・共助・公助の体制強化を図るとともに、防災体制を整備し、発生した災害には、速やかに対応します。 さまざまな自然災害や新たな感染症など市民の生命・身体及び財産に危険が及ぶ非常事態発生時に迅速に対応できるよう、適切な情報伝達に努めるとともに、市民や関係機関と連携し、防災体制の整備及び危機管理体制の強化に取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	総合防災訓練などを通じて市民と連携した応急給水訓練を行い、災害時の即応能力 の向上を図るとともに、県及び他の水道事業者との協定に基づく相互応援体制を維持していきます。			
関連する市の計画等	地域防災計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	応急給水体制の充実			
	応急給水設備の充実			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	1,511	0	令和5年度（年度末時点）	0.25 0.00
令和6年度	決算見込額	1,656	0	令和6年度（年度末時点）	1.15 0.00
令和7年度	当初予算額	4,061	0	令和7年度 4月1日時点	0.95 0.00
	補正後予算額	3,397	0		
	決算額	2,602	0	令和7年度 年度末時点	0.95 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	市民が参加する応急給水訓練の実施回数	回	目標値	2	2	2	2	2	2	2
			実績値	0	3	3	3	3		
活動 指標	水道局独自の訓練（水道局職員対象）の実施回数	回	目標値	2	2	2	2	2	2	2
			実績値	1	3	3	3	3		
成果 指標	各種訓練に参加した水道局職員の割合	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	給水袋や組立式給水タンクを調達したほか、給水車の操作や組立式給水タンクの組み立て訓練を行い、災害の危機管理体制を強化しました。また、総合防災訓練や避難所運営訓練で、市民と連携した応急給水訓練を実施しました。その他、災害時を想定した各種情報伝達訓練を実施しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後も災害や水質事故等に即応できるよう、危機管理体制の強化に努めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	お客様センターの運営	
	担当部署名	水道局 給水課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－7 安全な水道水の安定供給	
	施策の展開内容	業務の効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。 また、安全で安心な水道水を供給するとともに、老朽化した浄水場設備の更新と管路の耐震化を計画的に進めます。	
事務事業の目的 ・概要	お客様センターを効率的に運営し、水道料金の徴収・収納の事務や給水装置工事に関する業務監理などを適切に行っていきます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	料金の調定・徴収・収納		
	料金・給水・会計業務棟包括業務委託の監理（料金・給水業務分）		
	滞納整理及び給水停止処分		
	給水装置の維持管理		
	給水装置工事監理		
	量水器取替・修繕業務		
	指定給水装置工事事業者の審査		
	貯水槽水道の衛生管理指導		
	直結・増圧給水の普及促進		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	料金・給水・会計業務等包括委託 R7～R11年度 1,003,255千円		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	295,894	0	令和5年度（年度末時点）	5.74 0.00
令和6年度	決算見込額	289,684	0	令和6年度（年度末時点）	3.35 0.00
令和7年度	当初予算額	336,826	0	令和7年度	4月1日時点 3.35 0.00
	補正後予算額	342,115	0		
	決算額	300,323	0		
	次年度へ繰越	0	0	年度末時点	3.35 0.00

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	料金等の請求総件数	件	目標値	688,000	692,000	699,000	706,000	708,000	709,000	710,000
			実績値	693,818	699,875	706,581	714,428	722,758		
成果 指標	収納率（過去5年度の収納額合計／過去5年度の調定額合計）	%	目標値	99	99	99	99	99	99	99
			実績値	99	99	99	99	99		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	料金等の請求総件数が増加した中、収納率は維持していることから、事業を適切に実施できたと評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、収納率の向上に努めるとともに、経費の削減に努めます。